

# 研究所だより

第104号

平成29年 5月

発行：草津市立教育研究所

## ともに歩む教育研究所に

草津市立教育研究所 所長 北川 健



4月1日付けで、所長に就任しました北川健です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、教育研究所の事業は、教員

の研修、調査研究、教育相談、スキルアップの大きく4つあります。

教員の研修事業では、夏期研修講座、自己啓発講座等だけでなく、研究奨励事業を実施しております。昨年度は、保幼小中学校・園・所から60点の応募がありました。その中には、「こんな子どもに育てたい」「こんな学校にしていきたい」と夢を持ち、見通しを持ち、構想を立てて継続的に実践研究された結果が、成果となって表れている論文が多くありました。情熱をもって子どもたちの指導にあたっておられる先生の姿が伝わってきました。

教育相談事業としては、児童生徒が学校に行けなくなった時に、適応指導教室「やまびこ」の指導員と所属校の先生の見守りと連携の中で、

○自分の気持ちを見つめる

～自分さがし～

○親子の関係を見つめる

～出会い直し～

○学校から離れているけれど、つながっている

○自分の生き方を考える

という観点から、やがては、学校・

社会へ、自分の足で歩いて行けるように願っ

て取り組んでいます。

スキルアップ事業では、タブレットPCや電子黒板等のICT機器を有効活用した授業づくりの充実と草津型アクティブ・ラーニングの推進を重点に取り組みます。

調査研究事業では、本市の強みであるICT機器活用に関する研究と「私たちの草津」の改訂に向けて取り組めます。

ところで、本研究所の取り組みについては、「研究所だより」にてお知らせしているところですが、今年度は「教育だより特別号」を随時発行します。

その第一弾として、年度当初の学級づくりの参考に役立てていただけるように「黄金の3日間を決まり！」を発行しました。

ある学校では、校長先生から、「黄金の3日間」を見ましたかと教員に呼びかけていただいたところ、「はい！ダウンロードして読みました。（たび丸ネットに掲載）」と元気な返事が返ってきたとお聞きしました。早速ご利用いただきたいへん感謝しています。

最後になりましたが、「ともに歩む教育研究所」をモットーに学校、関係機関と連携を密に、本教育研究所の強みを生かしつつ皆様の意見を参考にしながら各事業に取り組んでいきたいと思しますので、ご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。



— 豊かな学びが、輝く子どもを育む —

## 草津市接続期カリキュラム

～幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けて～

### 草津市接続期カリキュラムとは…

幼児期の教育と小学校教育の間には、主に次の3つの段差があると考えられます。

- ①生活の段差……就学前施設での生活と小学校の生活には大きな違いがあります。  
(施設や環境、時間の区切り、一日の流れ、集団への関わり 等)
- ②学び方の段差…幼児期の教育は遊びや生活を通して総合的に学んでいくのに対し、小学校教育は、各教科の学習内容を統合的に配列した教育課程に基づいて実施されています。
- ③指導の段差……幼児期の教育と小学校教育では、それぞれ指導方法が違い、お互いの教育の在り方や方法を理解した上で、連続性をもった指導をする必要があります。

草津市の子どもたち一人ひとりが輝くために、これらの段差をなくし、学びの芽生えである幼児期の教育と小学校以降の教育を豊かにつなげ、等しく質の高い教育・保育が受けられることが求められています。このため、草津市子ども家庭部および草津市教育委員会事務局では、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校が互いに知恵を出し合って、教育の連続性や一貫性をもった草津市接続期カリキュラム（アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム）の作成を平成27年度から開始し、このたび平成29年3月に策定しました。

### 草津市接続期カリキュラムの目標

幼稚園・保育所・認定こども園と小学校のそれぞれの役割や目的をふまえ、発達と学びの連続性・一貫性のある教育・保育を円滑に行うことを目的としています。

#### ≪具体的目標項目≫

- ①幼児期の教育と小学校教育の関係を「連続性・一貫性」でとらえる考え方を示す。
- ②幼児期と児童期の教育活動を「つながり」でとらえる工夫を示す。
- ③幼児期と児童期の接続の取組を進めるための方策（連携・接続の体制づくり等）を示す。

#### ■学び方の違いと教育としての連続性

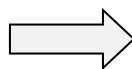
幼稚園・保育所・認定こども園	小学校
<b>【学びの芽生え】</b> 「学ぶ」ということを意識しているわけではなく、楽しいことや好きなことに集中することを通して、さまざまなことを学んでいく。	<b>【自覚的な学び】</b> 「学ぶ」ということについて意識があり、集中する時間と休息等の区別がつき、与えられた課題を自分のこととして受け止め、計画的に学習を進めることができる。

≪学び方≫

「遊び」を中心とした総合的な学び

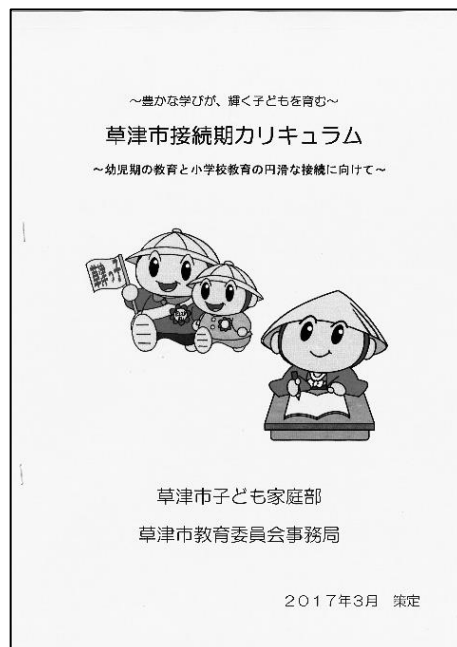
「教科」を中心とした自覚的な学び

遊び



学習

連続性・一貫性



# 「生きる力を育む草津市接続期カリキュラム」

草津市接続期カリキュラムの別紙には、5歳児の10月～3月にかけてのアプローチカリキュラムと、小学校1年生の4月～7月にかけてのスタートカリキュラムを統合した「生きる力を育む接続期カリキュラム」を掲載しています。これは、接続期に育みたい内容や配慮する事項などをまとめたものですが、編成にあたっては何回も訂正や修正を重ねてきました。経験してほしい内容、環境構成や援助、また家庭との連携や校種間の連携などを明記することで、それぞれの教育がつながり合って展開されることを願っています。

また、草津市接続期カリキュラムの中には、子どもの実態や地域性を生かした効果的なアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの編成ができるように作成事例も加えました。

■生きる力を育む接続期カリキュラム										別紙②			
5歳児	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小学1年生	4月	5月	6月	7月		
アプローチカリキュラム			自分の成長を感じて、自信をもって行動する。				スタートカリキュラム						
生きる力の基礎	学びに向かう力	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に触れて、不思議を感じたり、感動したりしながら科学的ものの見方や考え方ができるようになる。【好奇心・探究心】</li> <li>さまざまな身体経験の中で探求し喜びあふ、ものの性質や特性に興味を持ち楽しむ。【好奇心・探究心・向上心】</li> <li>生活の中で身近な文字の役割がわかる。【物や事象についてイメージが広がる】</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然環境やものに直接触れる経験を通して、ものの性質や仕組みについて考えたり、気付いたりする。</li> <li>友だちと意見を話し合ったり、考えを伝え合ったりして、新しい考えを生みだしていく楽しさを味わう。【協働性】</li> <li>文字で伝えることの楽しさや意味に気付く。生活の中で文字を使うことを楽しむ。</li> <li>絵の描きかたや表現を通して、想像して楽しむ楽しさを味わう。</li> </ul>			確かな学力 豊かな生活力 健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学びに向かう力</li> <li>●新しい生活力</li> <li>●たくましく生きる力</li> </ul>				
	人とのかかわる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの思いや考えに気づき、心を通わせながらわかる楽しさを味わう。【言語】</li> <li>身近な人々に自分らしめをもちあふれる。【人間関係】</li> <li>生活の中で様々な役割は、みんなが果たしあふりあふる。気づきあふることでめいめい成長することを実感し、誇りを持てるようになる。【規範意識】</li> <li>ふいふいと自分と区別し、進んでふいふいとできるようにする。</li> <li>自分とは違う考えをもつ友だちとの違いの中で、新たな考えが生まれる楽しさや、協働する楽しさを味わう。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの生活や遊びをよくするために、どうしたらよいのかを、友だちと一緒に行動する。</li> <li>生活や遊びの中で、友だちとのつながりを通して、良い考えを求めあふ。</li> <li>自分の役割や責任を認識し、友だちと役割を分けあふ。</li> <li>共通の目標に向かって取り組む中で、みんなが協力してやりあふる達成感や充実感を味わう。</li> <li>関係の深い人との関係の中で、自分が役に立つ喜びを感じて行動する。【自己効力感】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい生活力</li> <li>●たくましく生きる力</li> </ul>				
	生活する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな生活材料をよく観察し、楽しみあふる。【食育】</li> <li>衣類の機能、食事、服装などの生活に必要な活動の必要性に気付く、進んで行う。【基本的生活習慣】</li> <li>自分たちの遊びや生活の場を自ら準備したり、進んで整えたりする。</li> <li>自分の健康や安全についての知識を身に付け、自分の体を守る責任をもち、【健康】</li> <li>いろいろな生活の中で、危険な状況や危険な行為を避け、進んで安全を守らうとする。</li> <li>一日の生活の流れや生活の場を整理して過ごす。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく食事ができることに喜びや感謝の気持ちをもち、【食育】</li> <li>自分の体や心の健康を自分で管理し、自分で進んで取り組む。</li> <li>友だちや知り合いの人と、自然に遊ぶことができる。【主体的に行動する】</li> <li>就学前の生活や遊びから、生活に慣れさせて主体的に行動する。</li> <li>ルールや約束を守る大切さを理解して主体的に行動する。</li> <li>危険がわたり、自分で危険な状況や危険な行為を避け、【安全】</li> <li>あったかや冷たいと伝える。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●たくましく生きる力</li> </ul>				

詳しくは Public の草津市接続期カリキュラムをご覧ください

## 今後に向けて…

幼児期と児童期の接続を積極的に進めるためには、幼児期と児童期の教育双方が接続を意識する期間を「接続期」ととらえる考え方を普及させることが必要です。そして、教育内容の接続を図るカリキュラムを構成・実施して、幼児・児童の生活と学びの段差を滑らかにしていくことが必要です。

草津市子ども家庭部や草津市教育委員会事務局では、あらかじめ連携・接続に関する基本方針や支援の方策を策定し、各学校・施設はそれらをふまえて連携や接続のための取組を進めることが望ましいと考えます。今回策定した「草津市接続期カリキュラム」が、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校が相互理解を深め、就学前後の子どもや保護者の不安を解消する手立てになることを願っています。また、新しい教育要領や指針に従って内容の見直しを図りながら、引き続き子ども家庭部と草津市教育委員会事務局が連携し、全国に誇れる「保育や教育の確立」をめざし、今後も努力を続けていきたいと考えています。

「草津市接続期カリキュラム」データは、【public → 情報提供 → ●学校教育課へ → 学校教育G → 草津市接続期カリキュラム】にあります。

「草津市接続期カリキュラム」の積極的な活用と幼小の円滑な接続を、どうぞよろしくお願ひします！！

# 平成29年度教育研究所事業紹介

## 研究奨励事業



- ・昨年度、小中学校・幼稚園より60点の応募を得ました。本年度も昨年同様6部門（基盤研究、フレッシュ研究、挑戦的萌芽研究、ステップアップ研究、就学前教育研究、アイデア研究）で実施し、教育研究の、より一層の広がりを目指します。
- ・すべての所、園、学校からの応募を期待しています！！

## 研修講座

- ・本年度10講座の開催を予定しています。
- ・人権教育講座は、今年度3講座を予定しています。
- ・自己啓発講座は、3～4講座を実施予定です。
- ・8月3日（木）は、教育研究所研究発表大会を開催予定です。

ホームページをご覧ください  
研究所の取り組みについて情報発信をしています。



草津市立教育研究所



平成28年度教育研究奨励事業の発表と教育講演会（講師：(株)オフィスマッキー代表取締役 牧田衛活さん）を予定。

## 調査研究

【教育課程に関する調査・実践研究】

- ・「わかる・できる・楽しい」プログラミング的思考を高める取り組み～人型ロボット Pepper を活用して～」をテーマにして調査・実践研究を行います。

【地域教材作成】

- ・小学校3・4年生向け副読本「わたしたちの草津」の全面改定に向けて編集委員会を立ち上げます。
- ・社会科副読本「わたしたちの草津」ならびに、指導書(実践事例集)、ワークシート・評価問題の有効活用を推進ください。

## スキルアップ事業

スキルアップ支援講座を担当します。よろしくお願いします。



スキルアップアドバイザー  
山元 孝子



スキルアップアドバイザー  
小宮 康



スキルアップアドバイザー  
北川 健



ICTスキルアップアドバイザー  
仲野 忠克



所長  
北川 健



指導主事  
嶋田達也



研究員  
堀江和男



適応指導教室担当  
藤井弘美



適応指導教室担当  
西澤留美子



相談担当  
伊庭裕美



相談担当  
藤居奈々恵

## 指導員紹介

や

ま

び

こ

だより



やまびこ教育相談室では、教育相談の実施と適応指導教室の運営を行っています。今回は、4コマ漫画でそれぞれの概要について紹介します。



1 電話受付



教育相談

2 初回面談



3 次回の予約



4 数か月後...



1 電話受付



適応指導教室

2 初回面談



3 見学



4 体験入級



# 司書さんおすすめの絵本

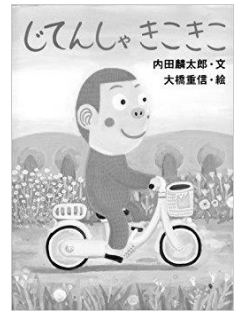
読み聞かせにご活用を



「じてんしゃきこきこ」 (内田 麟太郎・文 大橋 重信・絵 (ピリケン出版))

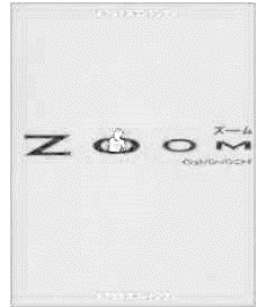
おさるのポンちゃんが自転車をこいでいます。そして、その姿をこっそりと盗み見ている、タコさんとムカデさん。実は、あることをたくらんでいました。

自転車をこぐ「きこきこ」という言葉の繰返しは、心地よいリズムになって、子どもたちを絵本の世界へと誘ってくれます。学ぶことの喜びをシンプルに描いた作品。



「ズーム」 (イシュトバン・バンニャイ著 (ブッキング))

右ページいっぱい広がっている赤色を不思議に思いながら、ページをめくるとそれは、鶏のトサカ。文字はなく、ページをめくる度に、鶏を眺める子ども、子どもたちの家・・・と、どんどんズームアップしていきます。さて、最後は一体どこに行きつくのでしょうか。絵本の絵を読むことの楽しさを体感できること間違いなしです。



「ちゃんとたべなさい」

(ケス・グレイ 文 ニック・シャラット 絵 よしがみきょうた 訳 (小学館) )

表紙を見て、「ちゃんとたべなさい」と言われているものが何かは一目瞭然。絶対食べたくない子どもに対して、どうしても食べさせたい母親が出す交換条件がどんどんエスカレートしていき、その奇想天外さに、聞き手の子ども達は大笑いします。

子どものことを思う余りの母親の言動に、ドキリとする大人も多いのではないのでしょうか。



## ようこそ草津市へ

## 平成29年度新規採用者のみなさん



氏名	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名
中江菜月	矢橋ふたばこども園	福島菜生	笠縫東こども園	岡本くるみ	草津第二保育所
安田香仙	第三保育所	奥美也子	第四保育所	高岡さつき	老上幼稚園
鳥山礼湖	玉川幼稚園	堀田奈那	山田幼稚園	川路真澄	笠縫幼稚園
西村真奈	志津小学校	梅津美咲	志津小学校	新川和毅	志津南小学校
西村 恵	志津南小学校	澤井琴海	草津小学校	北川千恵	矢倉小学校
高木絵梨華	草津第二小学校	西村歩美	草津第二小学校	山本佳佑	渋川小学校
佐野仁美	渋川小学校	片桐貴子	老上小学校	吉田郁弥	老上小学校
土井祐磨	老上西小学校	下村安佑実	老上西小学校	岡本佳代	玉川小学校
岸本和旭	玉川小学校	伊東歓奈	南笠東小学校	藤川亮 (事務)	南笠東小学校
大江祥子	山田小学校	大下真由	笠縫小学校	福田崇仁	笠縫小学校
角有希子 (養護)	笠縫小学校	大野 涉	笠縫東小学校	藤江裕美	常盤小学校
七里昌司	高穂中学校	吉岡志栞	高穂中学校	曾束公一	草津中学校
岩橋美穂	草津中学校	津留崎駿	草津中学校	西出尚記	玉川中学校
津田茂範	松原中学校				